

令和5年度 健康・福祉に関する諸計画の推進に関する意見書

令和6年3月27日
多治見市地域福祉計画評価委員会
委員長 海 老 諭 香

1 福祉委員の活動について【地域福祉計画－地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項】

地区によっては福祉委員の活動があまり知られていないようですが、福祉委員は町内会で1名配置され、地域住民にとって非常に身近な存在です。そのため、家庭の困りごとや地域の問題をいち早く把握できる立ち位置にあると考えます。

意見1 活躍しておられる地区もあると思いますので、福祉委員会議でその実例を紹介して情報共有をしてください。そして、福祉委員の存在意義を見直し、市全体で拡充していけるように努めてください。

意見2 民生委員・児童委員・福祉委員の連携を強化しいろいろな情報を地域包括支援センターなどの関係機関に繋げ、高齢者支援にも一層の強化をお願いします。

2 災害・緊急時の支援について【障害者計画－1「安心して」生活するために－7災害・緊急時の強化対策】

能登半島地震でも避難所のあり方がとても重要だと改めて認識しました。多治見市は、毎年、避難行動要支援者名簿の更新をし、逆手挙げ方式の導入により幅広い支援をできるように努めています。また、個別避難計画の取組も開始されました。

意見1 今後の課題として、自治会に加入していない人を、どのように支援していくか、助ける人と助けられる人の溝をどのように埋めていくかという問題に取り組んでいく必要があると考えます。

以上